

基本方針VI 環境配慮行動の実践

【環境の現況】

今日顕在する地球温暖化、天然資源の枯渇、野生生物の生息・生育環境の悪化などの環境問題の原因は、日常生活や事業活動から生ずる環境負荷が蓄積し、環境の容量を超えてしまったためと考えられています。

これらの環境問題を解決するためには、地球規模で取り組むことが重要ですが、地域においても、市民一人一人が環境問題に対する理解を深め、日常生活や事業活動において、環境に配慮して行動することが必要です。

本市では、市民・事業者・市民団体などの各主体が、環境問題に対する理解を深め、環境配慮行動に取り組むことができるよう、小中学生への環境教育、自然学習会等の機会の提供、環境配慮行動への支援、事業者としての本市による率先実行などの事業を進めています。

【施策の推進状況】

1 環境教育・環境学習の推進

(1) 小中学校における環境教育・環境学習

市内の小中学校では、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動ができる態度・能力を育むことを目指し、体験型のプログラムなどの環境教育・環境学習に取り組んでいます。

① 釧路市学校版環境ISO

従前より各学校で行われている環境に対する取り組みの中にISOの「計画」「実施」「点検」「見直し」のサイクルを取り入れ、子どもたちの環境意識の向上を目指しています。平成17年度に小中学校4校をモデル校として実践し、平成18年度からはほとんどの小中学校で取り組みを進めています。

② 社会科教育資料「きれいなくらし」の作成

家庭や学校などの身近な生活の中から、ごみを減らすことや資源を大切にすることなどを学んでもらうため、小学4年生を対象に社会科の教育資料「きれいなくらし」を作成し、市内全ての小学校4年生に配付しています。

③ 校区・公園等の清掃

児童・生徒が、校舎周辺、校区内の公園・海岸のごみ拾い等を通じて、環境保全・美化に取り組んでいます。このほか、花壇の整備を実施している学校もあります。

④ リサイクル活動

児童・生徒が、自ら給食の牛乳紙パックを開いて、水洗いし、乾燥させてから回収しています。このほか、プルタブやペットボトルキャップ、古紙などのリサイクル活動にも取り組んでいます。

⑤ 自然体験学習

各小中学校において、宿泊研修や遠足などの行事において、春採湖や武佐の森、阿寒湖などの地域の良好な自然とのふれあい体験を取り入れています。

⑥ グリーン購入の推進

本市では、子どもから家庭、そして地域へとグリーン購入の実践が広がることを目標に、小学校の空き教室やオープンスペースを活用して、エコ文具やリサイクル製品、パネルの展示を行っています。平成24年度は、4校で各校1週間程度実施しました。

(2) こどもエコクラブ活動の推進

こどもエコクラブとは、幼児から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。平成7年度に環境省事業として始まり、平成23年度より財団法人日本環境協会が運営しています。本市は、こどもエコクラブ地方事務局として、子どもたちの活動を支援しています。

平成24年度は、地方事務局内で13人（1クラブ）の子どもたちが、こどもエコクラブとして登録し、活動しました。

(3) 環境学習会、自然観察会などの開催

本市では、市民の環境教育・環境学習に資するため、環境学習会、自然観察会などの普及啓発事業を開催しています。平成24年度は以下のとおりです。

表3-6-1 環境学習会などの開催状況

名称	会場	回数	参加者	担当課
環境月間パネル展	コアかがやき、阿寒町公民館、音別町コミュニティセンター	3	-	環境保全課
地球温暖化防止パネル展	コア大空、コア鳥取、釧路市役所	3	-	
体験エコ教室	釧路市立仁々志別小学校	1	13	
春採湖なんでもパネル展	釧路市こども遊学館、市役所ロビー	2	-	
春採湖ウチダザリガニ捕獲事業市民参加行事「春採湖のウチダザリガニ」	春採湖	1	44	
動物園 北海道ゾーン散策とネイチャークラフト	動物園	1	24	
こどもレンジャー活動	動物園、標茶町塘路ほか	5	73	環境保全課 (釧路湿原国立公園連絡協議会)
冬のエコツアー2013	標茶町塘路	1	21	環境保全課 (KIWC)
みんなで調べる復元河川の世界2012	標茶町茅沼	2	38	
ごみ処理施設見学会	ごみ処理施設	13	410	環境事業課
げんきの森	音別町ふれあいの森	2	29	農林課
街のみどりパネル展	市役所ロビー、阿寒町公民館、音別町コミュニティセンター	3	86	公園緑地課
下水処理場見学会	処理施設	15	592	下水道施設課
春採湖畔探鳥会	春採湖畔	8	149	博物館
春採湖畔草花ウォッチング	春採湖畔	5	162	
春採湖畔水辺のいきもの観察会	春採湖畔	3	18	
しらべてみよう春採湖の昆虫	春採湖畔	4	42	
親と子の昆虫採集・観察会	鶴居村温根内	1	4	
釧路・足寄合同化石観察会	阿寒町	1	31	
雪と氷の自然観察	春採湖畔	1	3	

歩くスキーで冬の湿原ハイク	鶴居村温根内	1	15	博物館
昆虫の名前を調べる会	博物館	1	9	
国際講演会「世界のマリモ、阿寒湖のマリモ」	博物館	1	68	
友の会講演会「植物から見た春採湖の30年」	博物館	1	95	
「海外のタンチョウ保護と教育普及活動」	博物館	1	41	
移動博物館「まちなかの草花たち」	コアかがやき	1	5093	
特別展「マリモを守る-マリモ保護の歴史と現在」	博物館	1	1240	
企画展「よく見てみよう！春採湖畔の草花たち」	博物館	1	2152	
サマースクール	動物園	2	33	動物園
北海道ゾーンガイド	動物園	49	128	
北海道ゾーンスポットガイド	動物園	59	692	
マリモ生息地観察会	阿寒湖	5	119	阿寒生涯学習課
リースづくり体験	音別町体験学習センター	1	5	音別生涯学習課
天体観望会～ふたご座流星群を探そう～	音別町体験学習センター	1	23	音別生涯学習課

(4) 環境学習への支援

① 出前講座

本市では、釧路市生涯学習まちづくり出前講座（申込先：市教委生涯学習課）を実施しています。環境に関する講座も実施しており、講師として担当課の職員を派遣しています。

表3-6-2 環境に関する講座の登録状況

講座	講座の内容	担当課
釧路川と水道水	釧路川の水が水道水になるまで、水の安全性などについてお話します。同時に、水道水をよりおいしく飲むアドバイスなどもします。	水質管理課
かんきょうの話	私たちを取り巻く環境を将来に伝えていくために、自然、水、空気などの「かんきょう」についてお話します。	環境保全課
身近でできる地球温暖化対策	環境家計簿を利用し、温暖化の原因や影響、家庭でできる温暖化対策についてお話します。	
ごみ減量とリサイクル	「ごみ減量とリサイクル」をテーマに、ごみや資源物などの分別、リサイクル方法などについてお話します。	環境事業課
野外活動を学ぶ	野外で行う地域活動や学級レクなどのプログラム・メニュー作成についてお話します。	教育支援課
動物たちが危ない！－絶滅するかもしれない動物たちのお話－	野生動物・絶滅のおそれがある動物を守るために、私たちができることについてお話します。	動物園

表3-6-3 環境に関する講座の実施状況

講座	回数	参加者数	担当課
釧路川と水道水	1	13	水質管理課
身近でできる地球温暖化対策	2	51	環境保全課
動物たちが危ない！ －絶滅するかもしれない動物たちのお話－	1	212	動物園

② 資料の整備

市立釧路図書館や各コミュニティセンターでは、市民の自主的な環境学習を支援するため、環境関連資料の整備を進めています。特に図書館では、特設コーナーを設置し、一定期間、環境関連資料を展示しています。また、小学校4年生向けのごみ問題に関する社会科副読本「きれいな暮らし」、市内の自然観察地の見どころなどを紹介した「くしろ自然ウォッチングガイド」などをはじめとした資料等を作成しています。

(5) 施設の充実

釧路市立博物館や釧路市動物園においては、自然環境に関連した展示を設け、市民の環境保全に関する意識の向上に役立てています。また、春採公園内に設置されている春採湖ネイチャーセンター、阿寒町の「阿寒湖畔エコミュージアムセンター」や音別町の体験学習センター「こころみ」等さまざまな施設で、展示会学習会並びに観察会等を通して、環境教育・環境学習の推進・普及を行っています。（63ページ参照）

2 環境配慮行動の促進

(1) 環境に関する情報の提供

① 釧路市環境白書の発行

本市の環境の現況や施策の実施状況等を明らかにするため、釧路市環境白書を年1回発行しています。

② 環境ニュースの作成・発行

ごみの減量化・再資源化や、家庭での二酸化炭素の排出削減などについての市民啓発を図るため、啓発用チラシを年2回作成・配布しています。

③ インターネットの活用

本市のホームページにおいて、自然環境、地球温暖化の防止や廃棄物などの環境に関する情報を提供しています。

(2) 市民や事業者による環境配慮行動への支援

① 住宅用太陽光発電システム設置費補助金

本市では、住宅用太陽光発電システムの設置促進を目的とした補助制度を実施しています。平成24年度の補助金額は、1kWあたり5万円（上限15万円）です。（23ページ参照）

② 合併処理浄化槽設置費補助金

本市では、公共下水道の整備区域以外に居住する方を対象に、合併処理浄化槽設置費補助制度を実施しています。補助金額は、設置する合併処理浄化槽の人槽（大きさ）によって定めており、5人槽が90万円、7・10人槽が110万円です。また、設置に際して、単独処理浄化槽を撤去する場合は、9万円を加算しています。（54ページ参照）

③ 釧路市企業立地促進条例

本市では、一定の要件を満たすリサイクル産業施設や緑地の整備に際して、課税免除や補助金の交付を行っています。（35ページ参照）

④ 中小企業効率化近代化資金

中小企業が公害防止設備、省エネルギー設備、リサイクル設備の実施に際して、低金利の融資あっせんを行っており、市商業労政課が窓口となっています。

表3-6-4 中小企業効率化近代化資金のあらまし

種別	融資限度額	融資期間	利率
設備資金	5,000万円	15年以内 (据置期間は1年以内)	2.10% (平成25年4月1日現在)

(3) 環境影響評価の推進

環境影響評価は、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事業を行おうとする者が、あらかじめその事業に係る環境への影響について自ら調査、予測、評価を行い、環境の保全について適正に配慮を進めていく制度です。国では環境影響評価法、北海道では北海道環境影響評価条例が定められています。

(4) 各種事業における環境への配慮

廃棄物処理施設の設置、店舗面積1,000㎡を超える小売店舗の出店など環境への影響がある事業については、各法令等に基づき、住民の意見を聞きながら環境への配慮を進めています。

(5) 本市の率先実行

① グリーン購入の推進

本市では、物品や車両・サービスの購入にあたって、環境に配慮した商品（製造・流通・廃棄の段階で環境負荷の少ない商品）を選択する「グリーン購入」に積極的に取り組んでいます。平成24年度の調達品目と調達率は以下のとおりです。

表3-6-5 調達品目と調達率

	主な重点調達品目	調達目標	調達率	主な判断基準
紙類	コピー用紙	100%	99.9%	古紙配合率が可能な限り高いもの
	トイレットペーパー			古紙配合率100%
文具類	シャープペンシル、ボールペン、鉛筆、消しゴム、定規、バインダー、はさみ、クリアファイル、マグネット、ノート、インデックス	100%	99.6%	金属を除く主要材料について ・プラスチックの場合、再生プラスチックがプラスチック重量の40%以上 ・木質の場合、間伐材や端材等の再生資源 ・紙の場合、古紙配合率50%以上
オフィス家具等	椅子、机、会議用テーブル	100%	100%	大部分の材料について ・金属類の場合、単一素材分解可能率が85%以上。 ・プラスチックの場合、再生プラスチックがプラスチック重量の10%以上 ・木質と紙の場合、「文具類」と同様
照明	蛍光管	100%	93.4%	エネルギー消費効率が基準を下回らないもの
自動車購入・リース	低公害車	100%	66.7%	電気自動車、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、水素自動車、クリーンディーゼル自動車

消火器	消火器	100%	100%	消火薬剤について、再生材料が重量比40%以上
制服 作業服	作業服	100%	92.5%	再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、製品全体重量比10%以上
作業手袋	作業手袋	100%	100%	再生PET樹脂から得られるポリエステル繊維が、製品全体重量比50%以上

② 釧路市エコオフィス活動の推進

本市では、市の事務事業に伴う環境負荷を低減するとともに、環境にとって有益な取り組みを確実にかつ効率的に推進していくため、平成13年度からISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムを構築し、平成18年度まで運用していました。

平成19年度からは、これらの取り組みの趣旨と成果を引き継ぎ、また、社会的責任の見地から環境負荷低減の維持を目的に、オフィス活動を中心とした本市独自の環境マネジメントシステムである「釧路市エコオフィス活動」を運用しています。

表3-6-6 釧路市エコオフィス活動の取り組み結果

取組項目	測定値 (A)	平成24年度目標値 (B)	測定値/目標値 (A/B)
印刷・コピー用紙 (A4換算)	7,522,503 枚	9,332,508 枚	80.6%
公用車燃料 (ガソリン)	109,317 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	153,146 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	71.4%
公用車燃料 (軽油)	25,855 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	38,875 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	66.5%
電気	2,032,415 kWh	2,363,340 kWh	86.0%
暖房用燃料 (蒸気)	1,128,847 MJ	1,872,623 MJ	60.3%
暖房用燃料 (重油)	301,206 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	344,699 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	87.4%
暖房用燃料 (灯油)	73,503 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	86,894 $\frac{\text{リットル}}{\text{トール}}$	84.6%
可燃ごみ 不燃ごみ	6,815.8 kg	13,696.6 kg	49.8%
ノーマイカーデー	年12回以上設定、実施	年12回以上設定、実施	適合

※ ガス・水道・庁舎ごみ・資源物は、計測は実施するが、目標値を設定しないため、上の一覧表には含めていない。

※ ノーマイカーデーについては、目標値の設定、測定方法がその他の取り組み項目と異なる。

③ 釧路市地球温暖化防止実行計画の推進

本市では、市の事務事業や市が管理する施設から排出される温室効果ガスの削減を目的として、釧路市地球温暖化防止実行計画を策定しています。この計画では、平成24年度の温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量を平成19年度（基準年度）と比べて1.2%削減することを目標としていますが、平成24年度の排出量は0.2%増加し、目標を達成できませんでした。

平成25年度からは、新たな目標のもとで取り組みを進めていきます。（26ページ参照）

④ 釧路市役所環境配慮指針

本市の事務事業における省資源・省エネルギー、リサイクル製品の利用拡大、ごみの減量などを推進するため、釧路市役所環境配慮指針に基づき、環境配慮行動の率先実行やポスター掲示による啓発などに努めています。平成24年度は、2ヶ月に1回啓発ポスターを作成、

各課に配布しました。

⑤ 公共事業における環境配慮

本市では、公共事業によって発生する建設資材廃棄物の再使用や再生利用を、供給のバランスや技術的な支障とならない範囲で行っています。（31ページ参照）

3 パートナーシップの形成

(1) 環境政策の形成に関する市民参加

本市では、環境や廃棄物などに関する重要事項を調査審議する各種審議会の委員を公募しています。また、釧路市環境基本計画などの策定に際しては、アンケートの実施や市民の意見を聴く会を開催するなど、市民の意見を計画に反映するよう努めることとしています。

表3-6-7 環境に関する審議会の公募委員数

名称	委員数	うち公募数
釧路市環境審議会	18	4
釧路市廃棄物減量等推進審議会	18	3
釧路市上下水道事業審議会	15	2

(2) 市民参加による環境保全活動

① 各種清掃活動

連合町内会などが中心となり、春の一斉清掃や秋の自主清掃を実施しています。また、「釧路市マチをきれいにする推進協議会」では、ボランティアの参加者を募り、「春採湖クリーン作戦」や「ごみひろい隊会」などの清掃イベントを実施しています。（39ページ参照）

② 釧路市クリーンパートナー制度

本市では、道路などの清掃活動について、区域を決めてボランティアに委任する「釧路市クリーンパートナー制度」を設け、平成13年度から実施しています。（39ページ参照）

③ 公園里親制度

本市では、清掃や草刈などの公園の美化活動について、区域を決めてボランティアに委任する「公園里親制度」を設け、平成13年度から実施しています。（39ページ参照）

④ ハマナス群落の復元

大楽毛海岸の豊かな海岸植生を復元するため、昭和63年から、市民団体などの参加を得ながら、ハマナス苗を植栽しています。（10ページ参照）

(3) 国、北海道、他の地方自治体との連携

本市は、釧路湿原の保全などの自然協保全や公害防止などの生活環境保全をはじめとする幅広い分野において、国、北海道、他の地方自治体との連携や協力の下に、環境保全の施策を推進しています。